

令和 2 年度 定時 会員 総会 議案

【第 1 号 議案】

令和 2 年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書（報告事項）
自令和 2 年 1 月 1 日 至 令和 2 年 12 月 31 日

【第 2 号 議案】

令和 3 年度
事業計画、収支予算書（報告事項）
自令和 3 年 1 月 1 日 至 令和 3 年 12 月 31 日

※注記 1：本書は「会員（社員）総会参考書類」を兼ねています。

※注記 2：「令和 2 年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

※注記 3

①会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使してください。

②新型コロナウイルス感染防止のため、出席者はマスクの着用をお願いします。また、フェースシールドをご準備ください。お持ちでない方は用意しますのでお申し出ください。

保健所が濃厚接触者の追跡をやめて市中感染が増え、無症状の方が、他に感染させることが増えています。体調の優れない方、発熱している方、新型コロナウイルス感染に少しでも危惧のある方は出席をご遠慮ください。

③新型コロナウイルス感染防止のため極力「事前の議決権行使」をお願いします。招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに北海道倶楽部宛に送付して下さい。

令和 3 年 3 月 9 日
公益社団法人北海道倶楽部

令和 2 年度 定時 会員 総会 議案

【第 1 号議案】 (●報告事項及び●承認事項)

令和 2 年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自令和 2 年 1 月 1 日 至 令和 2 年 1 2 月 3 1 日

●報告事項

「令和 2 年度 庶務事項報告 (総会、理事会報告)」 . . . 1 ページ

「令和 2 年度 事業報告」 . . . 11 ページ

「令和 2 年度 会員異動状況」 . . . 16 ページ

●承認事項

「損益計算書 (正味財産増減計算書)」 . . . 17 ページ

「貸借対照表」 . . . 18 ページ

「財産目録」 . . . 19 ページ

「キャッシュフロー計算書」 . . . 20 ページ

「計算書類に対する注記, 附属明細書」 . . . 21 ページ

●報告事項

「監査報告書」 . . . 22 ページ

【第 2 号議案】 (●報告事項)

令和 3 年度 事業計画、収支予算書

自令和 3 年 1 月 1 日 至 令和 3 年 1 2 月 3 1 日

●報告事項

「令和 3 年度 事業計画書」 . . . 23 ページ

「令和 3 年度 収支予算書」 . . . 26 ページ

令和2年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）
令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 令和元年度定時会員総会 3月11日</p>	<p>第1号議案「令和元年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の1～22頁に基づき説明した。 議長は鐵川照夫監事に監事を代表して監査報告を求めた。 監事は「令和元年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正である」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と監事を代表して報告した。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>第2号議案「令和2年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料24～27頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>第3号議案「理事及び監事選任（選任決議事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>最後に、議長から全般にわたり発言を募った。（詳細は省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後1時30分過ぎ、議長は令和元年度定時会員総会の終了を告げた。 （於 永田町ほっかいどうスクエア2階会議室）</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2月20日 書面による理事会を除き、各 理事会では、代表理事及び業 務執行理事の職務の執行状況 の報告が行われている。 書面による理事会を除き、各 理事会の前若しくは同時開催 で同様の議案で理事陪席の上 評議員会を開催している。</p>	<p>第1号議案 令和元年度事業報告及び決算等の承認の件（別冊「令和元年度定時会員総会 議案」参照） （1）事業報告書（2）事業報告書の附属書類（3）貸借対照表（4）損益計算書（正味財産増減計算書）（5）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類（6）財産目録（7）監査報告書</p> <p>第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出について決議する件</p> <p>第3号議案 令和元年度会員総会に係る件（定款第29条第1項第1号の事項） （別冊の「令和元年度定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき承認をお願いします。）</p> <p>第4号議案 会費未納会員の会員資格喪失者、会員入退会、会員数ほかの件 （1）会費未納（3年以上）会員の会員資格喪失者について（定款第11条</p>

種 別	概 要
	<p>第 1 項第 1 号による資格喪失者の報告)</p> <p>(2) 会員の入会について</p> <p>(3) 会員の退会 (登録会員の登録・抹消を含む)、会員推移</p> <p>第 5 号議案 その他</p> <p>(1) 新年交礼会実施結果について キャンペーン 「北方領土返還」、「北海道新幹線早期実現」、「地域活性化・ふるさと納税」をテーマに 1 月 24 日 (金) 18 時 ホテルニューオータニ 麗の間にて多数の出席者のもと盛大にキャンペーン集会が行われた。</p> <p>(2) 令和 2 年度寄附のお願いの件</p> <p>(3) 会費の請求について</p> <p>(4) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報) 自治体紹介ページ 今後の掲載スケジュールについて</p> <p>(5) 令和 2 年北方領土返還要求全国大会に参加 (2 月 7 日、国立劇場・大劇場)</p> <p>(6) 札幌冬季五輪・パラリンピック招致について</p> <p>(7) 4 月からの事務局業務について ・嘱託職員の雇用条件改定について ・企画、会報制作ほかの業務委託契約終了後の対応について</p> <p>(8) 今後の予定</p> <p style="text-align: right;">(於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>3 月 1 1 日 (臨時書面理事会)</p>	<p>第 1 号議案 総会で選任された理事の中から、会長 1 名、副会長若干名、理事長 1 名、副理事長若干名及び常務理事 1 名を定める件 (定款第 21 条第 2 項、第 29 条第 1 項第 4 号)</p> <p>任期はそれぞれ令和 3 年度の定時会員総会 (令和 4 年 3 月開催予定) の終結時までとする。但し、再任を妨げない。選定された者は、それぞれその就任を承諾した。</p> <p>第 2 号議案 定款第 25 条第 2 項にもとづき、名誉会長と相談役を推薦する件</p> <p>理事松田昌士を名誉会長に、理事岡村進を相談役に推薦する。任期はそれぞれ令和 3 年度の定時会員総会 (令和 4 年 3 月開催予定) の終結時までとする。但し、再任を妨げない。(理事長が委嘱後、本人からの就任承諾書の提出を以て就任が確定する。)</p> <p>理事全員が決議事項に同意し、監事全員は異議を述べなかった。</p>
<p>4 月 3 0 日 (書面理事会)</p>	<p>第 1 号議案 役員就任の件</p> <p>(1) 3 月 11 日令和元年度定時会員総会で再任 (重任) された理事と監事については、就任承諾書を提出戴き、登記完了後、内閣府に届けた。</p> <p>(2) 評議員、相談役、顧問及び参与などの、次期役員は、前役員を充てることを原則とし、別紙のとおり理事長に推薦することとする。</p> <p>第 2 号議案 定款付属規定の改正と 6 月評議員会の電子的方法による開催の件</p>

種 別	概 要
	<p>(1) 定款第 36 条第 2 項の定めるところにより、定款付属規定に第 7 条を追加する。</p> <p>(2) 定款付属規定第 7 条第 1 項の規定により 6 月に開催する評議員会は電子的方法により開催する。</p> <p>第 3 号議案 公益社団法人北海道倶楽部就業規則の改定の件</p> <p>(1) 公益社団法人北海道倶楽部就業規則を改定し、第 6 条第 5 項を追加する。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス対応のため本項を適用して、在宅勤務を行うことができる。</p> <p>第 4 号議案 新型コロナウイルス対応と事業計画</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対応のため、評議員会、「交流の夕べ」「交流イベント」の倶楽部の事業を行うか否かの判断は会長と理事長に一任したい。</p> <p>(2) 倶楽部として事業計画に掲げていた公益事業を行わない場合、内閣府と調整が必要となり、代替の公益事業の検討が必要と考えられる。代替事業等について、評議員会や部会の意見を求めることとする。</p> <p>第 5 号議案 新入会員審査の件</p> <p>第 6 号議案 その他（報告承認事項）の件</p> <p>(1) 元理事長（理事長在任平成 21 年～平成 28 年）の西村守正様が令和 2 年 3 月 28 日（土）12 時にご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。</p> <p>(2) PMF の顧問就任承諾について 村上理事長が引き続きパシフィック・ミュージック・フェスティバルの顧問に就任（令和 2 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで）する。</p> <p>(3) 事務局の体制について 新型コロナウイルスの影響及びリモートワークの流れを踏まえ在宅勤務環境を整備していく。ご意見を発信できるように評議員会用の掲示板などを HP に整備していく他 IT 環境を整備する。対応が困難な方には郵便等による対応を続ける。</p> <p>(4) 寄附金の状況（令和 2 年 4 月 30 日現在）</p> <p>① R1 年実績 84 人、2,748,000 円 R2 年予算 2,748,000 円</p> <p>② 応募 29 人、1,066,000 円 入金者数 18 人、入金実績 646,000 円</p> <p>(5) キャンペーンの状況（令和 2 年 4 月 30 日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 445 個・73,750 円／ 43,317 個・7,131,963 円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 66 個・16,000 円／ 3,088 個・612,920 円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 3 個・750 円／ 3,434 個・577,408 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数・金額／同累計 1 枚・1,000 円／ 480 個・384,600 円</p> <p>(6) 今後の予定ほか</p>

種 別	概 要
	<p>講演会、北方領土、交流の夕べ、交流イベント、北方領土返還要求中央アピール行進の対応については評議員会・部会で検討する。最終的な開催の有無は会長及び理事長に一任し、開催しないこととなった場合の代替公益事業についての検討も行う。</p> <p>(7) 理事会等予定</p>
<p>6月18日 (書面理事会) 評議員会は同日、電子的方法により開催された。</p>	<p>第1号議案 役員就任の件 別表のとおり</p> <p>第2号議案 役員交代に伴う担当見直し案の件</p> <p>第3号議案 新型コロナウイルス対応について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対応と理事会、評議員会、部会、事務局等の倶楽部の業務</p> <p>1) 理事会、評議員会、部会開催は書面理事会、電子的開催などを試行錯誤し長期の対応を見通しながら当面の対応を実施していく。4月理事会で評議員会の電子的開催の規定を設けた。</p> <p>① 6月の理事会は書面理事会とする。</p> <p>② 6月の評議員会は理事会議案を倶楽部のHPに上げ、メール（もしくはFAX）で賛否他のご意見を戴き設置した掲示板などに上げて閲覧して頂く。評議員会のご意見により理事会議案の変更等が必要となれば理事会構成員のご了解のもと理事会議案を変更する。</p> <p>2) 事務局業務も在宅やリモートワークの体制を確立していく。 4月理事会で就業規則に長期の対応の為に在宅勤務についての規定を定めた。</p> <p>(2) 直近の「交流の夕べの件」 例年8月4日前後に開催している夏のキャンペーンイベントは新型コロナウイルスの対応の為に中止とする。</p> <p>(3) 「交流イベント」ほかについて 8月理事会までに結論を出すべく検討する事とし、取りあえず予約はキャンセルし、結論が出てから再度対応する。</p> <p>(4) 倶楽部の公益事業をどうするのか 倶楽部として公益事業にどう対応するか検討の上実行する必要がある。</p> <p>1) 現在実施している対面型でない公益事業 「バッジ配布」「広報紙配布」「北海道情報ラック」「北海道の市町村」等</p> <p>2) 内閣府公益認定委員会 公益事業を変更する場合は連絡を取って対応する必要がある。</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件ほか（会員の入・退会、会員の推移）</p> <p>第5号議案 令和2年版会員名簿の件</p> <p>10月発行を目指し、掲載内容の確認と発行の財源となる名簿広告の募集を始めた。コロナの影響で名簿広告の出稿をどの程度集められるか不明だが、編集、版下作成は内製化してるので赤字になることはないと思われる。</p>

種 別	概 要
	<p>第 6 号議案 松田昌士理事・名誉会長 ご逝去の件</p> <p>別紙訃報の通り松田昌士理事・名誉会長は 5 月 19 日ご逝去されました。北海道 "NOW" の 6 月号に松田昌士元会長のご逝去の追悼記事を書いた。また、パスワードで保護しているがHPにに関連資料を掲載した。</p> <p>第 7 号議案 その他（報告承認事項）の件</p> <p>(1) 寄附金の状況（令和 2 年 6 月 12 日現在）</p> <p>① R 1 年実績 84 人、2,748,000 円 R 2 年予算 2,748,000 円</p> <p>② 応募 50 人、1,936,000 円 入金者数 44 人、入金実績 1,616,000 円</p> <p>③ 例年通り会員外の寄付者は 1 年間賛助会員として、会報・各種案内を送ることとする。イベント開催が行われる場合は高額寄附者へのイベントのご招待を行う。</p> <p>(2) キャンペーン of 状況（令和 2 年 6 月 17 日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジ of 状況 本年度頒布数・金額／同累計 449 個・74,750 円／ 43,321 個・7,132,963 円</p> <p>② 千島桜バッジ of 状況 本年度頒布数・金額／同累計 66 個・16,000 円／ 3,088 個・619,920 円</p> <p>③ 新幹線バッジ of 状況 本年度頒布数・金額／同累計 3 個・750 円／ 3,434 個・577,408 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD of 状況 本年度頒布数・金額／同累計 2 枚・2,000 円／ 481 個・385,200 円</p> <p>(3) 講演会について 企画部会で検討頂くが、広くご意見をお願いします。本年は、リモートの講演会を検討に加えたい。</p> <p>(4) 今後の事業予定ほか（以下の具体的対応については、今後検討する）</p> <p>① 北方領土 ビザ無し交流 今年、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日露両政府は「ビザなし交流」を延期する方針を固めた模様。</p> <p>② 「交流の夕べ」 本年は中止にする。</p> <p>③ 情報展示イベント、代々木北海道フェアは開催されない。</p> <p>④ 交流イベントは事業計画上では予定していたが、本年は実施の有無・方法については今後検討する。</p> <p>⑤ 北方領土返還要求中央アピール行進 12 月 1 日 開催の有無・詳細は不明</p> <p>⑥ 情報紙「北海道 "NOW"」 of 毎月の発行・配布、「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」 of 掲載</p> <p>⑦ 北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月）</p> <p>⑧ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」 of 頒布を行う。「千島桜バッジ」 of 頒布を行う。北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」 of 頒布を行う。</p> <p>(5) 理事会等予定</p>

種 別	概 要
<p>8月31日 理事会(評議員会)</p> <p>・以後の理事会は、書面による理事会を除き、事務所での参加者を含め、WEB会議システム「Microsoft Teams」(運用は事務局にて)を利用し行う。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見表明が互いにできる仕組みを確認後に議案の審議に入り、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告も行う。</p> <p>・評議員会は書面による理事会を除き、各理事会の前若しくは同時開催で同様の議案で電子的方法による開催及びWEB会議システム「Microsoft Teams」を利用する任意参加のWEB会議で行う。</p> <p>・8月理事会は、新型コロナウイルス感染防止のため初めてTeamsを使ったWEB上の理事会であったが、念のため議事録に理事と監事全員の記名押印をいただき書面理事会としても成立させている。</p> <p>・WEB参加の代表理事及び業務執行理事は職務の執行状況の報告を行った。</p>	<p>第1号議案 評議員辞任、就任の件 第2号議案 評議員会報告の件</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による倶楽部の今後の公益事業の進め方について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定款第4条第1項第1号から第7号の倶楽部の公益事業で本年度事業計画に掲げた事業は、原則として推進する。 2) 但し、新型コロナウイルスの影響で取り止めざるを得ない事業(外部の判断による中止の事業を含む)にあつては、その代替の事業は原則として定款第4条第1項各号に定めた内容の事業に振り替える。 3) 対面での多人数の飲食を伴うイベントについては、取り止める。(「交流の夕べ」「交流イベント」来年度の「新年交礼会」) 4) 講演会は多人数かつ対面で行う形式を止めて、WEB講演会の形式で行う事とする。なお、理事会は書面理事会(書面決議)やWEB理事会で行い、評議員会は電子的開催をすることとする。 5) 新型コロナウイルス感染症の影響で経済状況が悪化した事により、寄附金額の減少や会員の退会で会費収入が減少した。倶楽部の収支、損益状況を観ながら事業規模を縮小する。 <p>(2) 取り止めた事業の代替として行う事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「北海道の市町村のご紹介」の発行について <ol style="list-style-type: none"> ① 倶楽部が蓄積した過去の「北海道"NOW"」の連載記事を更新して再編集のうえ発行する。編集と版下作成は内製化する。 ② 本年度の収支、損益を勘案し印刷部数を調整の上12月に発行する。 ③ 配布については、会員各位に倶楽部の公益事業にご参加とご協力を頂きたい。配布コストを掛けずに配布したい。 2) 定款第4条の倶楽部の公益事業に関するWEB講演会の開催検討について <p>第3号議案 新入会員審査の件 第4号議案 その他(報告、承認事項)の件</p> <p>(1) 寄附金の状況(令和2年8月31日現在)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① R1年実績 84人、2,748,000円 R2年予算 2,748,000円 ② 応募49人、1,836,000円 入金者数49人、入金実績 1,836,000円 <p>(2) キャンペーン of 状況(令和2年8月31日現在)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 511個・87,750円/ 43,383個・7,145,963円 ② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 82個・20,000円/ 3,104個・616,920円 ③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 3個・750円/ 3,434個・577,408円 ④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数・金額/同累計 2枚・2,000円/ 481個・385,600円

種 別	概 要
	<p>(3) 令和2年度会員名簿は10月発行予定で準備を進めている。 申込広告収入(予定)は1,305,000円。 (本年度予算は1,641,600円、前回発行時(平成30年)の広告収入は1,810,000円)</p> <p>(4) 特別講演会開催について WEB講演会を実施する予定で、企画部会で調整する。</p> <p>(5) 令和2年度 北方四島交流訪問事業の件 今年度は中止。</p> <p>(6) イベント、広報等の予定 1) 交流の夕べ(8月4日予定)は本年度中止。 2) 情報展示イベント、代々木北海道フェア参加 本年度はフェア自体が中止。よって代々木北海道フェアに合わせて発行・配布していた「北海道"NOW"別冊(昨年107,500部を新聞折込配布)」も中止。 3) 交流イベント(10月27日予定)は本年度中止。</p> <p>(7) 名誉会長、理事 松田昌士氏死去の関連事項について 間瀬評議員会議長の「(仮題)追悼 故松田名誉会長の社会奉仕活動」を「北海道"NOW"の9月号WEB別冊(HP上掲載)」及び「会員名簿」に掲載予定。</p> <p>(8) 事務局の業務体制について</p> <p>(9) 理事会ほか予定 理事会は書面理事会若しくはWEB会議、評議員会は電子的開催の予定(北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>10月15日 理事会(評議員会) 理事会は事務所での参加者を含め、WEB会議システム「Microsoft Teams」を利用し行った。 評議員会は電子的方法による開催及び任意参加のWEB会議で行った。</p>	<p>第1号議案 北海道フェア in 代々木及び交流イベント中止報告の件 10月初旬に行われている「北海道フェア in 代々木」はオリンピックの影響で中止となった。10月27日開催予定の「第57回交流イベント」は8月31日の理事会決議で中止とされ、会場の明治記念館をキャンセルした。</p> <p>第2号議案 令和2年度会員名簿発行の件 令和2年度会員名簿を10月2日に発送した。 発行概要 1) 1,100部印刷 10月1日発行 2) 名簿の他、広報紙の過去1年の1面を収録し最近の倶楽部の公益事業を掲載した。 3) 収支 版下製作費(内製)、印刷費411,400円 郵送費等94,580円、広告料収入1,305,000円(前回、印刷費40万円、郵送費等約10万円、広告料収入181万円) 4) 今回広告料を約10%値上げした。</p> <p>第3号議案 WEB講演会について 前回理事会でWEBで開催することと決議された。小林企画部会長とも協議</p>

種 別	概 要
	<p>し、本日 WEB 講演会を開催する。小林企画部会長の司会で発表者 3 人によるシンポジウム方式で進行する。</p> <p>第 4 号議案 新入会員審査、会員の状況の件</p> <p>第 5 号議案 その他（報告承認事項）の件</p> <p>(1) 「北海道の市町村のご紹介」の発行 前回理事会決議により、中止された公益事業の代替として行うとされた「北海道の市町村のご紹介」の発行は北海道及び市町村の担当者と打合せ中。2020 年発行の「北海道 "NOW"」に掲載した 22 市町村を対象に想定。公益事業の予算使用状況により、WEB 上の発行にするのか印刷（部数等）にするのかなど、詳細は事務局に一任下さい。</p> <p>(2) 寄附金の状況 令和 2 年 10 月 15 日現在 応募 49 人、1,836,000 円 入金者数 49 人、入金実績 1,836,000 円 例年通り、会員外の寄付者は 1 年間協賛会員として、会報・各種案内を送る。</p> <p>(3) キャンペーン状況（令和 2 年 10 月 15 日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 513 個・88,250 円／43,385 個・7,146,463 円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 99 個・24,250 円／3,121 個・621,170 円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 3 個・750 円／3,446 個・580,358 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数／同累計・金額 2 枚・2,000 円／481 枚・385,600 円</p> <p>(4) 内閣府公益認定等委員会の立入り検査の件 別紙の通り、令和 2 年 10 月 14 日に内閣府公益認定等委員会の 3 人の担当者による立入り検査が行われた。検査結果は追って連絡される予定。</p> <p>(5) 北方領土返還要求中央アピール行進 中止となった。</p> <p>(6) 令和 3 年新年交礼会の件 新型コロナウイルスの影響で中止となり、ホテルニューオータニをキャンセルした。</p> <p>(7) 今後の事業予定ほか</p> <p>① 来年度の事業計画提出 12 月末まで（新型コロナウイルスの影響を前提に次回理事会で決定する）</p> <p>② 特別講演会 令和 2 年 10 月 15 日（木）12 時半～13 時半</p> <p>③ 北方領土返還要求中央アピール行進 12 月 1 日 中止になった</p> <p>④ 新年交礼会 中止</p> <p>(8) 理事会等予定 （北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて）</p>

種 別	概 要
<p>12月17日 理事会(評議員会) 理事会は事務所での参加者を含め、WEB会議システム「Microsoft Teams」を利用し行った。 評議員会は電子的方法による開催及び任意参加のWEB会議で行った。</p>	<p>第1号議案 令和3年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件(別紙参照) 定款第50条の定めにより、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされている。以下の通りご承認下さい。(「第1号議案 別紙 令和2年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び」参照)</p> <p>(1) 事業計画書について 別紙の通り、令和3年度の事業計画を作成した。基本的に令和2年度事業計画書に準じ作成した。(但し、新型コロナウイルスの影響で令和2年度の事業計画書とは相当異なっている。飲食を伴うイベントについては、「新年交礼会」は中止、「交流の夕べ」及び「交流イベント」は十分な感染対策をとり実施することとする。また、新型コロナウイルスの影響で収支の悪化も懸念されるので、開催にあたって、過去の前例にとらわれず、対応策の検討をする。コロナウイルスの終息後の社会状況への倶楽部の対応も検討する。)</p> <p>(2) 収支予算書について 令和2年度の仮決算(「別紙 令和2年度仮決算」)を踏まえ、令和3年度事業計画を遂行するため別紙(「別紙 令和3年度収支予算書」)の通り、令和3年度収支予算を作成した。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み 別紙「資金調達及び設備投資の見込み」の通り。</p> <p>(4) 収支等の主要項目の推移 ①主要項目推移 ②会員数の推移</p> <p>第2号議案 令和2年度事業報告等の作成、総会日程の方針について</p> <p>(1) 令和2年度の「事業報告」等は昨年に準じて作成し、その後監査を受け、2月理事会(18日予定)で承認後直ちに「定時会員総会招集通知、議案」を発送し(総会の2週間前)、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとする。</p> <p>(2) 総会は日程調整の上、倶楽部2階の広い会議室を借用し、換気など新型コロナウイルスの感染対策を施し開催する。(できるだけ委任状による参加をお願いします。)総会は発送の2週間経過後3月4日以降の予定。</p> <p>第3号議案 内閣府公益認定等委員会の立入り検査後の補正指示の件(別紙補正事項の一覧) 10月14日の内閣府立ち入り検査後10月16日付で補正事項通知書が到着し、別紙の通り補正し、認められた。</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件、会員数について</p> <p>第5号議案 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行について 標記の小冊子WEB版(92頁)を12月1日付で発行し、倶楽部のHPに掲載した。2020年1年間に北海道"NOW"に掲載した22市町村を再度、北海道と各市町村の校正を経て完成した。予算がないので、WEB版の発</p>

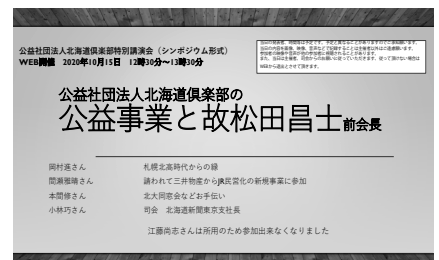
種 別	概 要
	<p>行となった。</p> <p>第6号議案 その他報告事項</p> <p>(1) 寄附金の状況</p> <p>① 令和2年度予算 274.8万円</p> <p>② 12月17日現在実績 187.5万円、52人</p> <p>③ 令和3年度寄附金のお願い・募集発送は3月開始の予定。</p> <p>④ 税額控除の適用となる。</p> <p>(2) 会費の入金状況</p> <p>① 令和2年度予算802.5万円（内訳正会員238.5万円 維持会員564万円）</p> <p>② 12月17日現在実績 756万円（内訳正会員213万円 維持会員543万円）</p> <p>③ 令和3年度会費（1月～12月分）の請求は4月の予定。</p> <p>(3) ブラウンリボンバッジの状況 本年度（12/17現在）605個、累計43,477個</p> <p>(4) 千島桜バッジの状況 本年度（12/17現在）151個、累計3,173個</p> <p>(5) 北海道新幹線バッジの状況 本年度（12/17現在）3個、累計3,446個</p> <p>(6) ちぎれ千島に雲がとぶ（CD）の状況 本年度（12/17現在）2枚 累計481枚</p> <p>(7) 事務局長の任期が5月に終了するが、1年間更新する雇用契約をこの理事会後に締結する。</p> <p>(8) 理事会・評議員会・定時会員総会予定 理事会は書面理事会もしくはWEB会議、評議員会は電子的開催の予定（北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて）</p>


種 別	概 要
<p>1. キャンペーン推進のための事業</p> <p>(1) 新年交礼会 1月24日</p>	<div data-bbox="885 152 1481 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">We Love Hokkaido</p> <h2 style="text-align: center;">公益社団法人北海道倶楽部</h2> <h1 style="text-align: center;">令和2年新年交礼会</h1> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>「ちぎれ千島が雲が飛ぶ（森繁久弥）」の後</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会の辞 ～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 川村 隆 来賓祝辞 国土交通省 大臣官房審議官 倉内 公嘉 様 北海道 副知事 浦本 元人 様 来賓ほかのご紹介（敬称略） 乾杯 （会長） 川村 隆 （理事長） 村上 隆男（発声） （副理事長） 鈴木 秀一 本間 修 （監事） 五十嵐 紀男 （理事 名誉会長） 松田 昌士 （理事 相談役） 岡村 進 懇談 6：30 積極的な交流（名刺交換など）をお願いします。 中締め 8時 間瀬 雅晴（評議員会議長） </div> <div style="width: 45%;"> <p>3. 来賓ほかのご紹介（敬称略） その場でお声を挙げて下さい。</p> <p>政党・国会議員（および事務所の代理の方）</p> <p>参議院議員 鈴木 宗男 参議院議員 竹谷 とし子</p> <p>国土交通省 大臣官房審議官 倉内 公嘉</p> <p>北海道 北海道 副知事 浦本 元人 北海道 東京事務所長 森 隆司 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 太田 泰晶 札幌市 東京事務所長 舘佐 寿彦</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">令和2年1月24（金）午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>We Love Hokkaido</p> <p>地域活性化 北方領土返還・ふるさと納税・北海道新幹線早期実現</p> <h3>キャンペーン</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> <div>北海道 早期実現 新幹線</div> <div>ブラウン リボンバッジ 北方領土返還</div> <div>千島桜 シンボルバッジ 北方領土返還</div> <div>地域活性化 ふるさと納税</div> </div> </div> </div> <p>1月24日（金）18時 ホテルニューオータニ「麗の間」 会費1万円</p> <p>倶楽部会員や国土交通省、道の関係者ら約100名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「北海道新幹線早期実現」「地域振興・ふるさと納税」をテーマに新年交礼会を開催した。</p> <p>川村隆会長は「今年も目に見える形で北海道を応援していきたい」と挨拶し、倶楽部が取り組むキャンペーンを着実に進める考えを強調した。</p> <p>来賓の国土交通省の倉内公嘉大臣官房審議官は、今年オープンするウポポイについてアピールし、浦本元人北海道副知事は「ほっかいどう応援団会議に北海道倶楽部が加入してくれたことに感謝している」と述べた。（次第、写真及び会報記事参照）</p>
<p>(2) 令和2年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>大会実行委員会の構成団体でもある当倶楽部は、2月7日の北方領土の日</p> <p>に東京・千代田区の国立劇場で行われた「令和2年北方領土返還要求全国大会」に参加した。安倍首相、茂木敏充外相ら政府関係者、元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら約1800人が参加し、倶楽部からも佐藤育男副理事長ら会員14人が参加した。安倍首相をはじめ「ブラウンリボンバッジ」の着用在が目に付いた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <div data-bbox="1029 1803 1476 2087" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">令和2年北方領土返還要求全国大会</p> <p style="text-align: center;">北方四島の早期返還を求める大会にご参加を！</p> <p>日 時 令和2年2月7日（金）「北方領土の日」</p> <p>10:00 開 場 11:10 開 演 トーク 12:00 第2部 式典 13:20 閉 会</p> <p>場 所 国立劇場 大劇場</p>  <div style="font-size: x-small;"> <p>会場地図</p> <p>1階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>2階：観客席、楽屋、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>3階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>4階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>5階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>6階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>7階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>8階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>9階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>10階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>11階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>12階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>13階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>14階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>15階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>16階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>17階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>18階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>19階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>20階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>21階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>22階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>23階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>24階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>25階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>26階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>27階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>28階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>29階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>30階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>31階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>32階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>33階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>34階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>35階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>36階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>37階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>38階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>39階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>40階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>41階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>42階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>43階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>44階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>45階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>46階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>47階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>48階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>49階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> <p>50階：ロビー、受付、展示場、演壇、控室、トイレ、エレベーター</p> </div> </div> </div> </div>

種 別	概 要
(3) 交流の夕べ 8月4日	<p>【新型コロナウイルス感染の影響により中止とした】</p> <p>例年8月4日前後に開催している夏のキャンペーンイベントは新型コロナウイルスの影響の為に中止とした。</p>
(4) 第57回交流イベント 10月27日 (旧道産子の会)	<p>【新型コロナウイルス感染の影響により中止とした】</p> <p>10月27日に明治記念館で仮予約していた交流イベントは新型コロナウイルスの影響の為に中止とした。</p>
(5) 北方領土返還要求中央アピール行進 12月1日	<p>【新型コロナウイルス感染の影響により中止になった】</p> <p>毎年12月1日に行われ倶楽部も参加していた北方領土返還要求中央アピール行進「アピール行進」は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となった。</p>
<p>2. キャンペーン</p> <p>(1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道 "NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度は留萌振興局管内、上川総合振興局管内を順次掲載した。</p> <p>2) 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行 今年度の1年間に北海道 "NOW" に掲載した留萌振興局・上川総合振興局管内の22市町村を再録し、小冊子WEB版(92頁)として12月1日付で発行し、倶楽部のHPに掲載した。WEBならではの便利な機能(しおり、リンク)も付加した。</p> <div data-bbox="459 1339 906 1644" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="995 1339 1465 1644" data-label="Image"> </div> <p>3) 北海道 "NOW" に北海道等が主催・共催・後援する事業を掲載 本年度は、北海道白老町にウポポイ(民族共生象徴空間)がオープンしたこともあり、北海道 "NOW" の information 欄にウポポイの広報を計4回にわたって掲載した。 その他、下記の記事を掲載し広報した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の恐竜・化石を展示する博物館を紹介するための「ほっかいどう恐竜・化石マップ制作プロジェクト」 ・新型コロナウイルスで大きな影響を受けた道内企業を応援 <div data-bbox="1264 1778 1474 2101" data-label="Image"> </div>

種 別	概 要
	<p>する「おうちで応援！かって北海道」十勝総合振興局の「十勝製品のインターネット特設サイト開設」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療を守るため支援を呼びかける「エールを北の医療へ！」 ・村上理事長が顧問を務めている PMF 組織委員会より「2021 年夏の PMF 再開に向けたご寄付のお願い」 ・北方領土対策本部が行っている「北方領土問題への北海道の取組について」 ・根室振興局が取り組んだ事業より「北方領土遺産をご紹介します！」
<p>(2) 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 1 月) 配布バッジ数累計 43,483 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 611 個) 収入総額 7,167,213 円 (発注バッジ総数 43,588 個、発注総額 4,256,157 円)</p> <p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」 北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2013 年 9 月) 配布バッジ数累計 3,181 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 159 個) 収入総額 632,420 円 (発注バッジ総数 4,000 個、発注総額 304,426 円)</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布 北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計 481 枚、本年度 2 枚 (無料分を含む) 累計収入金額 385,600 円 本年度収入金額 2,000 円</p>
<p>(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する</p>

種 別	概 要
	<p>北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジについて</p> <p>絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mmサイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年8月)</p> <p>配布バッジ数累計 3,446個(無料分を含む)(うち本年度配布3個)</p> <p>累計収入総額 580,358円(発注バッジ総数6,000個、金額675,675円)</p> <p>(北海道新幹線(新青森-新函館北斗間)は、平成28年3月26日に開業。札幌延伸は平成24年6月工事実施計画が認可され、2030年度末開業予定。)</p>
<p>3. キャンペーン推進のための調査研究事業</p> <p>1) 特別講演会</p>	<p>北海道倶楽部主催の講演会は、新型コロナウイルス感染防止のため、10月15日に初めてWEB(オンライン)で開催した。</p> <p>演題は「公益社団法人北海道倶楽部の公益事業と故松田昌士前会長」で、5月に逝去された松田前会長の社会奉仕、公益活動への功績などを振り返った。小林巧評議員会副議長の司会で間瀬雅晴評議員会議長、本間修副理事長、岡村進理事相談役(ビデオメッセージ)を講師に迎え、シンポジウム形式にて行った。</p> <p>Microsoft Teamsの会議を使ったWEB会議方式により行い、参加者は広く一般を対象とし、会報と倶楽部HPで告知をし、参加費は無料とした。</p>
<p>4. キャンペーン推進のためのメディア事業</p> <p>(1) 北海道情報紙「北海道NOW」の配布</p>	<p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第743号から第753号まで発行(毎月1日、ただし2月1日号は休刊)会員以外への会報の配布も積極的におこなった。(ふるさと会、北海道情報ラックなど)</p>



種 別	概 要
<p>(2) 北海道情報紙「北海道 "NOW"」の別冊をWEB版としてHPに掲載</p> <p>(3) 北海道情報ラック設置</p> <p>(4) 倶楽部ホームページ対応</p>	<p>WEB版としてHP上に掲載することにより、会員外も自由に無料でアクセスでき、様々な読者層にアピールすることができる。</p> <p>1) 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行 北海道 "NOW" 第753号別冊として、1年間に掲載した留萌振興局・上川総合振興局管内の22市町村の紹介を12月1日付で発行し、倶楽部のHPに掲載した。(2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーンの欄参照)</p> <p>2) WEB別冊号の発行 北海道 "NOW" 第750号WEB別冊として、故松田昌士元会長の追悼記事を倶楽部のHPに掲載した。</p>  <p>18カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット（「北海道 "NOW"」の紹介頁の市町村などのもの）北海道情報紙「北海道 "NOW"」などを毎月送付</p> <p>倶楽部の対外的広報のため、内容の更新に務めた。 イベント等の参加申込、終了報告、イベント中止の報告、リモートワークでの事務局体制の通知、その他報告事項など更新を行った。</p>
<p>5. 協賛・後援名義の付与ほか</p>	<p>1) 「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」村上理事長が顧問に就任。</p> <p>2) 北海道が推進する「北海道・ロシア地域間協力チーム」に参加（情報収集）</p> <p>3) ほっかいどう応援団会議参加</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

令和2年度 会員異動状況

(令和2年12月末現在)

単位		令和元年度末	内 容			令和2年度末
			増	減	差引	
維持会員	社数 (社)	125	1	11	△ 10	115
	口数 (口)	187	0	5	△ 5	182
	登録会員数 (名)	252	50	74	△ 24	228
正会員数 (名) (名誉会員1名を含む)		164	5	20	△ 15	149
個人会員数 合計 (名)		416	45	94	△ 39	377

損益計算書（正味財産増減計算書）

損益計算書（正味財産増減計算書）

令和2年1月1日～令和2年12月31日

計算書類に対する注記に記載の方法で公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分、配賦して損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。		令和2年決算			令和2年／令和元年度増減	
		公益事業会計	法人会計	合計	前年度決算 令和2年12月31日	決算増減 （令和2年-令和元年）
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
経常収益 （収入）	(1) 経常収益[収入]					
	受取会費（入会金）	10,000	10,000	20,000	35,000	△ 15,000
	（正会員会費収入）	1,072,500	1,072,500	2,145,000	2,430,000	△ 285,000
	（維持会員会費収入）	2,715,000	2,715,000	5,430,000	5,670,000	△ 240,000
	事業収入（広告収入）	1,027,380	1,305,000	2,332,380	1,380,000	952,380
	交流、キャンペーン等収入	568,553	380,600	949,153	4,858,887	△ 3,909,734
	受取寄付金（寄附・協賛金）	1,875,000	0	1,875,000	2,969,250	△ 1,094,250
	受取利息	0	80	80	94	△ 14
	雑収入	0	15,162	15,162	20,945	△ 5,783
	経常収入合計（収入高合計）	7,268,433	5,498,342	12,766,775	17,364,176	△ 4,597,401
経常費用 （事業費・管理費）	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費			
	給料手当	3,643,107	2,428,738	6,071,845	6,374,673	△ 302,828
	諸謝金				50,000	△ 50,000
	法定福利費	262,603	175,069	437,672	496,799	△ 59,127
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000	75,000	0
	外注費	2,885,251	500,000	3,385,251	2,958,640	426,611
	荷造運賃	11,274	5,222	16,496	182,208	△ 165,712
	広告宣伝費				759,625	△ 759,625
	会議費	0	42,960	42,960	134,639	△ 91,679
	旅費交通費	19,910	3,560	23,470	47,460	△ 23,990
	通信費	618,460	458,748	1,077,208	1,200,260	△ 123,052
	会合費	461,700	369,130	830,830	4,907,229	△ 4,076,399
	消耗品費	190,758	121,681	312,439	541,837	△ 229,398
	新聞図書費	105,888	0	105,888	105,888	0
	賃借料	81,453	54,302	135,755	137,037	△ 1,282
	雑費	106,317	89,656	195,973	429,936	△ 233,963
	経常費用計（事業費・管理費計）	8,431,721	4,279,066	12,710,787	18,401,231	△ 5,690,444
II 当期経常増減額（事業損益金額）		△ 1,163,288	1,219,276	55,988	△ 1,037,055	1,093,043
一般正味財産期首残高				5,515,532	6,552,587	-1,037,055
一般正味財産期末残高				5,571,520	5,515,532	55,988
III 正味財産期末残高				5,571,520	5,515,532	55,988

◎ 付属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無い場合、作成しない。

貸借対照表

貸借対照表
(令和2年12月31日) (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金・預金	5,757,838	5,506,083	251,755	
貯蔵品	55,778	92,985	△ 37,207	バッジ対価 の使用待ち 切手等
キャンペーン品	778,511	842,748	△ 64,237	キャンペー ン用バッジ 等の在庫を 計上
未収入金 仮払金	325,000 0	1,120 0	323,880 0	
流動資産合計	6,917,127	6,442,936	474,191	
2. 固定資産				
什器備品	50,633	98,266	△ 47,633	プリンター 簿価ほか
電話加入権	1	1	0	備忘価額
固定資産合計	50,634	98,267	△ 47,633	
資産合計	6,967,761	6,541,203	426,558	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	45,185	59,838	△ 14,653	後納郵便代
仮受金	315,056	4,833	310,223	雇用保険料 預かり
流動負債合計	360,241	64,671	295,570	
2. 固定負債				
退職給与引当金	1,036,000	961,000	75,000	従業員退職 引当 (1人 分)
固定負債合計	1,036,000	961,000	75,000	
負債合計	1,396,241	1,025,671	370,570	
III 正味財産の部				
一般正味財産 (正味財産期末残高)	5,571,520	5,515,532	55,988	
正味財産合計	5,571,520	5,515,532	55,988	
負債および正味財産合計	6,967,761	6,541,203	426,558	

◎ 付属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無い場合、作成しない。

財産目録

財産目録 (令和2年12月31日現在)

(単位円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
(流動資産)						
現金・預金		運転資金として	5,757,838	5,506,083	251,755	
現金	現金手元有高		0	0	0	
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		3,725,367	1,500,048	2,225,319	
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		784,805	2,940,760	△ 2,155,955	
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		448,998	449,534	△ 536	
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	
貯金	郵便振替預金		498,668	315,741	182,927	
貯蔵品計		在庫として	55,778	92,985	△ 37,207	
切手	事務所保管		37,704	86,843	△ 49,139	バッジ対価の使用 待ち切手
はがき	返信先印刷済事務所保管		0	0	0	
はがき	事務所保管		14,364	372	13,992	
レターバック	事務所保管		3,710	5,770	△ 2,060	バッジほか送付用
収入印紙	事務所保管		0	0	0	
キャンペーン品計		在庫として	778,511	842,748	△ 64,237	キャンペーン用 バッジ等の在庫
ブラウシリボンバッジ	事務所保管		327,758	376,638	△ 48,880	
千島桜バッジ	事務所保管		66,298	80,648	△ 14,350	
CD	事務所保管		87,040	87,720	△ 680	
新幹線バッジ	事務所保管		297,415	297,742	△ 327	
未収入金			325,000	1,120	323,880	会員名簿ほか未収 入分
仮払金			0	0	0	
流動資産合計			6,917,127	6,442,936	474,191	
(固定資産)						
什器備品計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルヒ'63」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
絵画 西村貴久子 「流氷」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
電話加入権		備忘価額	1	1	0	備忘価額
備品	プリンター		47,633	95,266	△ 47,633	一括償却資産
固定資産合計			50,634	98,267	△ 47,633	
資産合計			6,967,761	6,541,203	426,558	
(流動負債)						
未払金			45,185	59,838	△ 14,653	後納郵便代ほか
仮受金計			315,056	4,833	310,223	
内 雇用保険			2,146	4,833	△ 2,687	
流動負債合計			360,241	64,671	295,570	
(固定負債)						
退職給与引当金		従業員退職引当	1,036,000	961,000	75,000	
固定負債合計			1,036,000	961,000	75,000	
負債合計			1,396,241	1,025,671	370,570	
正味財産合計			5,571,520	5,515,532	55,988	
負債および正味財産合計			6,967,761	6,541,203	426,558	

◎ 付属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目(引当金等明細)が無い場合、作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法)

令和2年1月1日～令和2年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	55,988	55,988
貯蔵品(増減)	△ 37,207	37,207
キャンペーン品(増減)	△ 64,237	64,237
未収入金(増減)	323,880	△ 323,880
仮払金 (増減)	0	0
固定資産 (増減)	△ 47,633	47,633
未払金 (増減)	△ 14,653	△ 14,653
仮受金 (増減)	310,223	310,223
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
	キャッシュフロー	251,755

科 目	当年度	前年度
現金・預金	5,757,838	5,506,083

増減
251,755

計算書類に対する注記, 附属明細書

計算書類に対する注記, 附属明細書

1 重要な会計方針ほか

- (1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。会費収入は、原則公益事業会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。（会費規程第6条適用）
- (2) イベントの交流、キャンペーン等収入はイベント事業費支出の公益事業会計と法人会計の支出割合で配賦した。
- (3) 寄附金は公益事業会計に配賦した。
- (4) イベント会場に支払う飲食・会場費は60%を公益事業会計に配賦した。イベントで使用する酒類、土産類は法人会計に計上した。
- (5) 通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合により、公益事業会計に配賦した。他は個別に配賦した。
- (6) 下記の通り、上記配賦基準により公益事業会計と法人会計に配賦した。

科目	総額	公益事業会計配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計配賦割合
入会金	20,000	10,000	10,000	公益収益割合	50%
正会員会費収入	2,145,000	1,072,500	1,072,500	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	5,430,000	2,715,000	2,715,000	公益収益割合	50%
広告収入	2,332,380	1,027,380	1,305,000		
北海道NOW 広告	1,027,380	1,027,380	0	個別配賦	100%
会員名簿広告	1,305,000	0	1,305,000	個別配賦	0%
交流、キャンペーン等収入	949,153	568,553	380,600		
交流、キャンペーン等収入 内 新年交礼会会費等収入	865,000	484,400	380,600	支出事業費割合	56%
交流、キャンペーン等収入 内 ハッジ等収入	84,153	84,153	0	個別配賦	100%
寄付・協賛金	1,875,000	1,875,000	0	個別配賦	100%
受取利息	80	0	80	個別配賦	0%
雑収入	15,162	0	15,162	個別配賦	0%
合計	12,766,775	7,268,433	5,498,342		
給料手当	6,071,845	3,643,107	2,428,738	従事割合	60%
法定福利費	437,672	262,603	175,069	従事割合	60%
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
外注費	3,385,251	2,885,251	500,000		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,885,251	2,885,251	0	個別配賦	100%
外注費 総会議案印刷等	500,000	0	500,000	個別配賦	0%
荷造運賃	16,496	11,274	5,222		
資料送付等運搬	11,274	11,274	0	個別配賦	100%
イベント土産等運搬	5,222	0	5,222	個別配賦	0%
会議費	42,960	0	42,960	個別配賦	0%
旅費交通費	23,470	19,910	3,560		
旅費交通費 公益事業分	19,910	19,910	0	個別配賦	100%
旅費交通費 理事会等法人会計対応分	3,560	0	3,560	個別配賦	0%
通信費	1,077,208	618,460	458,748		
通信費 公益事業分	451,651	451,651	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	347,528	0	347,528	個別配賦	0%
通信費 電話、インターネット 公益・法人会計振対対応分	277,945	166,767	111,178	使用割合	60%
通信費 郵便 公益・法人会計振対50:50対応分	84	42	42	使用割合	50%
会合費	830,830	461,700	369,130		
会合費 法人会計対応分(土産、酒類ほか)	61,330	0	61,330	個別配賦	0%
会合費 会場支払分等	769,500	461,700	307,800	対応の割合	60%
消耗品費	312,439	190,758	121,681		
消耗品費 公益事業分	53,969	53,969	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	30,489	0	30,489	個別配賦	0%
消耗品費	227,981	136,789	91,192	使用割合	60%
新聞図書費	105,888	105,888	0	個別配賦	100%
賃借料(事務所使用料)	135,755	81,453	54,302	使用割合	60%
雑費	195,973	106,317	89,656		
雑費 公益事業分	21,610	21,610	0	個別配賦	100%
雑費 法人会計対応分	33,184	0	33,184	個別配賦	0%
雑費 公益・法人会計振対対応分	141,179	84,707	56,472	使用割合	60%
合計	12,710,787	8,431,721	4,279,066		

- (7) 本年度取得した備品（プリンター）は一括償却資産（固定資産税の対象外）として3年で均等に1/3を消耗品費に計上した。
- (8) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は要支給額の100%を計上している。
- (9) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	5,757,838	5,506,083	251,755
その他流動資産	1,159,289	936,853	222,436
流動資産合計	6,917,127	6,442,936	474,191
その他流動負債	360,241	64,671	295,570
流動負債合計	360,241	64,671	295,570
差額	6,556,886	6,378,265	178,621
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	50,634	98,267	△ 47,633
固定負債	1,036,000	961,000	75,000
差額	△ 985,366	△ 862,733	△ 122,633
正味財産合計	5,571,520	5,515,532	55,988

3 公益社団法人北海道倶楽部 基本退職金引当管理表(附属明細書)

(就業規則第16条1項:勤続1年につき本俸月額給与の30%基本退職金を支給、月割り、端数2ヶ月)

退職給付繰入額 公益60% 法人40%で配賦

	令和元年度	令和2年度
職員1名	250千円×30%	50千円×30%
基準月額	250,000	250,000
引当額	75,000	75,000
引落額	0	0
累計額	961,000	1,036,000

令和3年2月18日

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 村上 隆男殿

監査報告書

法令及び定款第23条に基づき、各監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

令和2年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

公益社団法人北海道倶楽部
監事 五十嵐 紀男 ⑩
監事 鐵川 照夫 ⑩

令和2年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

令和3年3月9日

公益社団法人 北海道倶楽部
代表理事 理事長 村上 隆男⑩

令和3年度事業計画書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

種 別	概 要
令和3年度事業計画 1. 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響が終息するまで、適切な配慮のもと、定款に定められた公益事業の推進を着実に進行。 ・公益事業の推進にあたって、新型コロナウイルスの影響を考慮するとともに、終息後の社会状況や公益事業へ対応する新しいスタイルを検討する。 (新型コロナウイルスの影響が終息するまで、当該影響関連事項は適宜理事会で検討する。)
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により減少した会費収入や寄附金の収入増を目指し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。 ・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。リモートワークで事務局業務を行えるように努める。 ・リモート会議の活用につとめ、評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ・「北海道 NOW のインフォメーション」の頁などを活用し「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ・下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。
	<p>(1) 北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙年 11 回)を発行する。 ・引き続き、道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充、HP 版の発行の為の業務を続ける。 ・北海道のため「インフォメーション」の頁などで北海道等(行政や各種団体)の広報を行う。(昨年開設された「ウポポイ」の広報なども行う。) ・「北海道 NOW」の会員配布、北海道情報ラックでの配布を行う。 ・HP の活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・昨年度刊行した「北海道の市と町と村」の本年度版の刊行(WEB)を目指す。
地域活性化事業支援	<p>(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域 1 市 4 町で構成)」、「NPO 法人 住んでみたい北海道推進会議(正・団体会員 2 百以上で構成)」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD の頒布を行う。 ・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。 ・内閣府(含む倶楽部)などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」(2月7日、北方領土の日)が開催される場合は参加する。

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」(12 月 1 日、銀座行進) が開催される場合は参加する。(昨年度は中止) ・北海道情報紙「北海道 NOW」(年 11 回) 配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動を行う。
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄附の推進キャンペーン活動を行う。
新幹線早期実現	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
北海道情報紙 特別講演会の開催 外部イベント等への参加	<p>(6) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記の手法・方策等を総合的に適用し推進する。(一部重複・再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙年 11 回) を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・倶楽部の事業に関連したテーマで WEB 特別講演会を開催する。 ・北海道応援団会議に参加し協力する。
前年度事業との変更点等 ・新型コロナウイルスの影響 による事業計画の変更 ・終息後の社会状況や公益事 業への対応 (新型コロナウイルスや財源 の状況の変化で理事会で今後 別途決議した場合は変更す る。)	<p>(1) 北海道倶楽部が主催していた飲食を伴う対面型イベントの開催 キャンペーン(北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現)をテーマに「新年交礼会」夏に「交流の夕べ」秋に「交流イベント」を開催してきたが、本年は以下の通りとする。</p> <p>(但し、新型コロナウイルスの影響により理事会で開催、中止について別途決議した場合は変更する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新年交礼会」は新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせる。 ・8 月の「交流の夕べ」、10 月の「交流イベント」は高齢者が多いので新型コロナウイルス感染状況や事業運営への対応を充分行った上開催する。 <p>(換気、手洗い・手指消毒、マスク・フェースガード着用、大声を出さないなどの感染予防対策や会場の広さや食事の質・量やアトラクション・開催時間、事前予約や会費の事前納付などの運営方法に十分な対応をする。)</p> <p>(2) 他が主催するイベント等への参加ほか 以下のイベント等は開催が未定であるが、以下の対応とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代々木の北海道フェア参加と併せて発行している「北海道 NOW (増刊号)」は当面不参加とする。 ・「ふるさと北海道応援フォーラム」への参加及び後援等。実施された場合は参加、後援する。
4. 新型コロナウイルス の終息後の対応他	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの終息後の倶楽部の事業の再構築を検討する。 ・会員数の増強、寄附金増の方策、中断した対面型イベントに対する対応など。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 ・ イベント・講演会等は HP などでは会員外、一般へ参加案内しません。 ・ 部会対応 事業内容の詳細は担当の部会で今後検討し実施します。 ・ 新型コロナウイルスや財源の状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更する。	新年交礼会（開催見合わせ） 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーン集会の年初スタート交流事業。	(例年開催 1 月)
	「北方領土返還要求全国大会」（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」	(例年開催時期) 2 月 7 日 12 月 1 日
	交流の夕べ キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業。	8 月 4 日予定
	交流イベント 「We Love Hokkaido」(旧道産子の会) キャンペーン、公益事業の広報。	10 月 26 日 予定
	WEB 講演会、シンポジウムの開催 対面型を避け WEB によりリモート開催する。当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。会員間の交流にも役立てるが、当然一般も参加出来、無料とする。 (講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、HP などで一般参加を呼びかける。)	未定 (講師、会場等のスケジュールによる)
	キャンペーンバッジ頒布 ・ 北方領土返還要求運動の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。	随時
	情報紙「北海道 "NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道 "NOW"」本紙（年11回）を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、発行体制を整備。一般配布（有料 月額80円）有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」を引き続き本年も掲載する。	毎月
	WEB 版「北海道の市と町と村をご紹介」の発行 情報紙「北海道 "NOW"」に掲載している 1 年分の 22 の市町村情報をまとめ小冊子形式にして発行する。 HP で一般の無料閲覧が可能。	12 月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに無料配布する。	
	ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。	毎月
その他 倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・独立会計、北星会 (ゴルフ))	随時	

令和3年度収支予算書

<ul style="list-style-type: none"> ・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。 		公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人総計(合計)
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常 収 益 (収 入)	(1) 経常収益 [収入]			
	受取会費 (入会金)	10,000	10,000	20,000
	(正会員会費収入)	1,075,000	1,075,000	2,150,000
	(維持会員会費収入)	2,685,000	2,685,000	5,370,000
	事業収入 (広告収入)	1,011,380	0	1,011,380
	(交流、キャンペーン等収入)	1,574,413	982,520	2,556,933
	受取寄付金 (寄附・協賛金)	2,748,000	0	2,748,000
	受取利息	0	76	76
	雑収入	0	15,162	15,162
	経常収入計 (収入高合計)	9,103,793	4,767,758	13,871,551
経常 費 用 (事 業 費 ・ 管 理 費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	3,788,890	2,525,927	6,314,817
	法定福利費	257,646	171,764	429,410
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000
	外注費	2,909,776	88,600	2,998,376
	荷造運賃	66,512	119,622	186,134
	会議費	23,328	42,960	66,288
	旅費交通費	27,990	7,560	35,550
	通信費	804,943	271,406	1,076,349
	会合費	1,387,119	924,746	2,311,865
	消耗品費	185,251	117,276	302,527
	新聞図書費	106,014	0	106,014
	賃借料	81,453	54,302	135,755
	雑費	156,063	184,477	340,540
経常費用計 (事業費・管理費計)	9,839,985	4,538,640	14,378,625	
当期経常増減額 (事業損益金額)		-736,191	229,118	-507,074
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)				-507,074
※一般正味財産期首残高			※	5,207,732
一般正味財産期末残高				4,700,659
正味財産期末残高				4,700,659

※令和2年度仮決算で求めた値

公益社団法人北海道倶楽部 令和2年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 村上 隆男
公印省略

令和2年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参集下さい。
記

開催日時：

令和3年3月9日12時30分より（約1時間の予定。12時10分開場。昼食の用意はありません。）

開催場所：

永田町ほっかいどうスクエア2階会議室（北海道倶楽部事務所の2階、貸会議室なので開場前に入れません。）
千代田区永田町2-17-17、03-3581-4021(北海道倶楽部の電話番号)

議事に付すべき事項：

別紙「令和2年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。
(登録会員は議決権はありませんが、維持会員として、維持会員の議決権行使書を持参し、議決権を行使することが出来ます。)

議決権行使方法について：(新型コロナウイルス感染防止のためなるべく下記「3. 事前の議決権行使」をお願いします。)

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」(欠席で「委任による議決権行使」欄が無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。)
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】(はがき)に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに(遅くとも総会開催日まで)北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員(社員)の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】(はがき)の用紙(右欄参照)を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】
(はがき サンプル)

1. 会員総会出席による議決権行使：

会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案(本書)」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：(定款第18条第2項)

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

受任者は原則として議決権行使書を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：(定款第18条第1項)

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】(はがき)に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに(遅くとも総会開催日まで)北海道倶楽部宛に送付して下さい。
以上

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

- ・下記□にチェックを入れ至急送ってください。未記入の場合議決権行使を議長に委任とさせていただきます。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため出来るだけ下記の「議長に委任」か、「事前議決権行使」をお願いいたします。
- ・出席される方は連絡用電話番号をご記入ください。
電話
- ・フェースシールドご希望の方は下記にチェックのうえ早めのご返信をお願いいたします。(□希望する)

- 出席 (議決権行使書と議案をご持参ください。)
- 欠席 (☞委任もしくは2. 事前議決権行使)

【1. 委任による議決権行使】(記入がない場合は議長とします)

- 議長に委任する。
- 議決権行使書持参者に委任する。

【2. 事前議決権行使】(“否”の場合のみ下記□内にXをご記入ください。)

(欠席し委任されない方)

第1号議案—●承認事項

- 損益計算書 (正味財産増減計算書)
- 貸借対照表 財産目録
- キャッシュフロー計算書
- 計算書類に対する注記

令和3年3月9日(正会員・維持会員のID、お名前、ご担当)

(ID-000000 ○○会員)

お名前

至急送付ください。遅くとも総会開催日必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。
NO. 1001

公益社団法人北海道倶楽部 (TEL:03-3581-4021)

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail：hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

なるべくFAXかmailでのご連絡をお願いします。